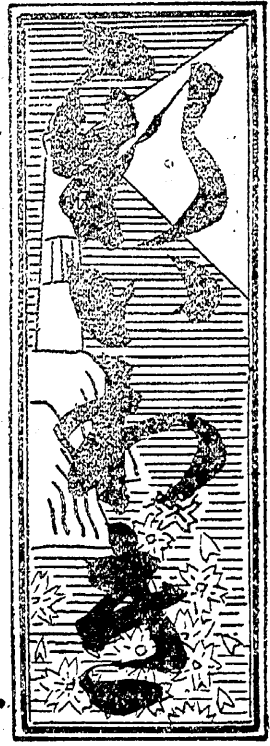


【刊夕日九十月一十】



休日曜大祭日
一月十五日
二日
三日
四日
五日
六日
七日
八日
九日
十日
十一日
十二日
十三日
十四日
十五日
十六日
十七日
十八日
十九日
二十日
二十一日
二十二日
二十三日
二十四日
二十五日
二十六日
二十七日
二十八日
二十九日
三十日

今朝平消防の非常召集

未明に轟く警鐘一打

信號八分後の敏速な召集

勇ましい水勢試験で解散

初冬の未明を警鐘一打に、規則訓練その他非常の好夢おどろかされた十九日、成績を以て午前七時散會し、午前四時三十分の平消防組に於ける非常召集は、同町第三小學校庭を集合地點として行はれた最も早い。

農産品評

神社名で

農産品評

廿七日佐麻久嶺神社に於て

右城郡飯野村では例年同村

反當り五石三斗四升

米多收獲品評の成績

且し品質に遺憾が多いと

本名瀬平穀検査所長語る

半町外八ヶ村米多收獲品評成績が、多く審査に當つた木名の審査は既報の如く十八名瀬平穀検査所長は左記の如く語る。

荒井署

長訓示講

評あつたが警鐘一打の演習で十二時、少なきもので五招集に「サン」を着して制帽をつけざるもの約三分の九、餘点の

持参せ

なかつたこ

と並にゴム靴を穿てるもの四升と稱する本年の收穫に若干あつたのが遺憾なだけ

出米榮 えは何れも足らないので同會の目標四石を飛越え五石三斗品は各村内に於ても数名に止まる為農家から出たものであるのだから、府

火氣に注意せぬ者は

平署で嚴罰に處する

消防員や火防組と力を協せ

季節に向いて来た火の用心

冬と火事とは昔から相場の平氣である無法者もある尙ほ、秋まつた腐れ縁でそろそろ、煙突の掃除は石炭を用ふ此の豫防のため今十九日、類を用ふるものは一週一回同町消防の非常召集演習後、必ず行はねばならぬことに規定されてゐる。

力を協

せて電戸か

ら風呂場その他火氣を用ふないものや、他の注意に従ふ場所の調査を行ひ、囁んで含める様に注意されたが、各戸が割合に無頓着なのは、煙突の掃除で大小約千五百本に達する。

設備か

ら手入れに

最も甚だしいものは、低い木造家屋の軒下に家根裏へ火の届く様な鐵砲風呂を焚えたり、又は短かい煙突の竈に紙屑類をたえて近隣に火の粉を飛ばして

九ヶ町村聯合

農産品評會

来る十二月六日から平町で

平町主催同町外八ヶ町村聯合農産品評會は、来る十二月六、七、八の三日間同町警署調官院に於て開催されるが、出品種目は左記の如く總數

併句

籬下群芳

満壽莊主人

黄菊白菊そのほかの名は、有名な句であり、す此句の真まに受入れて居たら、佛寺佛像が深山ある日本の

各町村成績

増收品評の

別項半町外八ヶ町村稻増收品評會に於ける各町村の成績は左記の如く、優良者に對する褒賞授與は、多分來月八日警署調官院に開催の農産品評會最終日になるであらう。

▲飯野村 反當最高五石三斗四升(十二斗四升)以下五斗、鹿島四石五斗九升(十一斗九升)以下六斗、湯本四石五斗一升八合(十一斗一升一合)以下四斗、神谷四石四斗四升(十一斗四升)以下五斗、草野四石三斗七升四合(十斗三斗七升四合)以下六斗、小窪四石三斗五斗(十斗三斗五斗)以下八斗、夏井四石二斗六升六合(十斗二斗六升六合)以下五斗、平四斗一升八合(十斗一升八合)以下五斗、好間四石二斗(十斗二斗)以下三斗、▲賞與特等(廿圓)飯野一夫、報告とばかり深更にも

貧弱な窃盜

平町

の紺屋町當時石城郡内郷村小島菓子屋の徒弟佐藤伊之松(○)假名は去十月十日、不詳の午後九時頃居村小島字川崎相田セイヤ裏手から一袋を窃取し、之を翌朝同地の鈴木トメに四十錢、賣却費消した。○署に發覺され、

天下大へい

十寸兎生

濱口總理大臣の容體がよくなるか悪くなるかは、胃に允滿せる瓦斯の放散如何にか、れりと云

平の人事

出生

平町字七軒町四〇甲高榮一、二女榮子十一月五日午後十時

死亡

平町字田町六六、安治五女館内トミ十一月十六日午後六時

結婚

平町字木町三六、笹川壽枝十一月十六日午後七時二十五分

重助

平町字田町一六、重助二男鈴木光四郎(○)と平町字南町三一耕作妹上田チヨウ(○)十一月十七日

か、わらず電話飛び、自動車走り、静かなるべき病院の夜更けに時ならぬにぎはひを呈したりとかや、尻の音をうぶ聲ほどにはやし立て、翌朝新聞紙上に此事傳はるや、民政黨所屬の人々は、勿論、國民一般に愁眉を開き、歡喜のよめき國中に満ちたり、一發で國をゆるがす大きな尻

畜業方回

緬羊飼育法 [六]

毛用と肉用

放牧地 羊群はこれを牝牡幼老等に分けて適當の地區に出し且つ順々に輪牧をする、面積に比して頭数が多ければ養分が不足し砂土をなめて非常に痩せることがあり、頭数が少なければ食へ残した草が硬くなつて不経済である、もつとも羊の残したものを牛を放つて食はせることもある、一群の数は一人の牧夫が管理出来る程度で、緬羊(去勢したる)羊なれば三百頭から五百頭、仔連れの母群は百五十乃至三百、一歩に適當の頭数は暖い期間七八ヶ月間なら普通十頭乃至十四頭、土地が良好であれば二十乃至二十八頭、下等の場合には數頭である、位置は寒風や濕風の吹く所はさける、寒風が烈しいと緬羊の疫病をかもし濕軟風は毛質を粗剛にし且つ毛量を増する、先づ南東に向いて緩やかな傾斜面が適する羊舎を建てるにも同様の注意が肝要である。

があるばかりでなく毛を汚してしまふ、夏季は乾いた砂を敷くのも一方法である、乾草を給するに草架を用ひ他の飼料は食器に入れる自然草で不足する時は牧草や蔬菜を栽培する圃場が必要である、羊の身體の衛生と清潔の爲めには水浴や薬浴が行はれる。

ガソリン
モビール油
日本石油
株式会社

特約販賣
屋間油
店商内關

支郡山市 電話三二八番
支茨城県 關本駅前 電話三三三番
支油槽所 平町四丁目 郵便局前

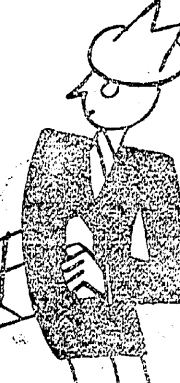
羊舎 の面積は牝とるとは一頭に三尺四方、牡と母羊とは其の二倍の廣さ、舎内は乾燥清潔に保ちしばし敷薬をとりかへる、不潔であると健康に害

模範 裁縫 高島屋の洋服

平町駅前 電話三八六番

既製部
オーバー 五圓から
卅圓まで
二重廻し 七圓以上

注文部は各種破格の勉強



外科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

平町、電話五二三番

高久病院
院長 醫學士 高久忠

ライト
寫眞館

平町搔搔小路
電話五三五番



七五三御祝着
御婚禮御結納

平町二丁目角

福引大賣出し

伊關吳服店
電話三三三番

十一月二十日より五日間
舊十月一日

引割二等 三割
引割三等 二割
五割 四割
二割 五分
一本も空くじなし

表代城盤 酒銘

美味經濟 味美 油醬ルマヤ

山崎合名會社
電話一〇番



秋のサロン

サロンの黒ビール

天高く 氣朗かに
美味芳醇の 黒ビールを召せ

サロンの黒ビール

田町電話三五二番

入湯時の快感を.....
「カクニ石鹼」で

品質純良 價格低廉
心他よいあわ立 優雅な香

壹ケ 金拾錢
ツルヤ

平町四丁目 電話一四〇

萩原齒科醫院
萩原義雄
平町南町 電話一五九

破格の勉強で 歡迎される

静岡本場 大角園特約
小笠原茶 半谷商店
平大町若松病院隣

平町 市原醫院

内科 外科 小兒科 梅毒 淋病

電話一四一

よろこびございますか
うちりますよ

中島寫眞館
平町字田町



諸毒下しの大妙藥
安流丸

持約 山野遠 藥三回